

まほろばの里 たかはた



高畠町民憲章

わたくしたちは、

- 一、自然と歴史を大切にし
調和のあるまちをつくります
- 一、からだをきたえ温かい心を育て
生きがいのあるまちをつくります
- 一、誇りと喜びをもって働き
活力のあるまちをつくります
- 一、たがいに学び合い文化を高め
知性のあるまちをつくります
- 一、郷土を愛し若い力を伸ばし
希望のあるまちをつくります

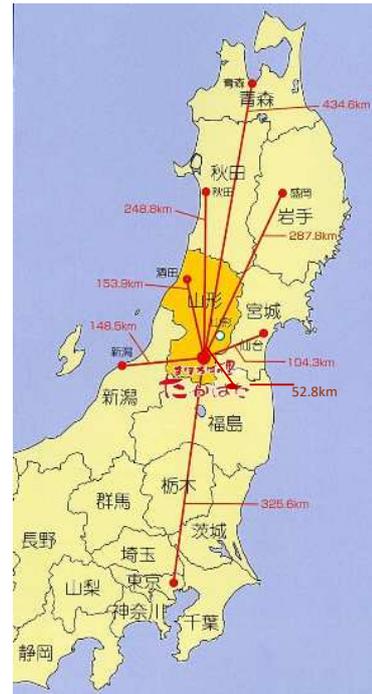
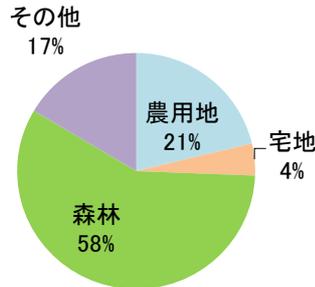
(昭和五十四年十一月三日制定)

目次

町のすがた	1
町の人口等	2
町の産業等	4
町のあゆみ	8
町内の主な施設	10

■ 町のすがた

- ◎ 位置 東経 140° 07' ~ 140° 17'
北緯 37° 54' ~ 38° 05'
- ◎ 面積 180.26 km² (令和2年1月1日現在 国土地理院)
農用地 38.13 km² 宅地 7.87 km²
森林 104.43 km² その他 29.83 km²
(令和2年山形県統計年鑑)



- ◎ 人口と世帯数(令和7年4月1日現在)
住民基本台帳人口
21,166 人 (内 男性: 10,381 人 女性: 10,785 人)
世帯数 : 7,809 世帯

- ◎ 町花／町木 町花 : つつじ 町木 : 赤松



(昭和51年3月指定)

- ◎ まほろばの里 「まほろば」とは、古事記などにしばしばみられる「まほら」という古語に由来する言葉で、「丘、山に囲まれた稔り豊かな住みよいところ」という意味を持っています。

高島町は、奥羽の山なみ深くに源流をもつ屋代川・和田川の扇状地に拓けた稔り豊かな美しい町です。山々や丘陵には、貴重な古墳や洞窟岩陰群が点在し、東北の高天原といわれるほどです。また、肥沃な平坦地には、黄金の稲穂が頭を垂れ、山間地にかけては、ぶどう、りんご、梨が熟し、まさに「まほろばの里」と呼ぶにふさわしいところです。

- ◎ 町の特産品 米、ぶどう、ラ・フランス、りんご、さくらんぼ、まつたけ、牛肉、清酒、ワイン、そば、納豆、乳製品、農産加工品(ジュース、ジャム、ドレッシング、漬物他)

- ◎ 町の予算 (令和7年度当初予算)
- | | | | | |
|--------|-------|-----------|------|--------------|
| ○ 一般会計 | 131 億 | 5,000 万円 | | |
| ○ 特別会計 | 61 億 | 2,101 万円 | | |
| ○ 企業会計 | 48 億 | 3,727 万円 | 合計 | 241 億 828 万円 |
| (病院事業 | 32 億 | 1,232 万円 | 水道事業 | 6 億 4,420 万円 |
| 下水道事業 | 9 億 | 8,075 万円) | | |

- ◎ 町の職員数 (令和7年4月1日現在)
- | | | | |
|--------|-------|------------|----------|
| ○ 一般職員 | 216 人 | (再任用14人含む) | |
| ○ 病院職員 | 183 人 | (再任用4人含む) | 合計 399 人 |

■ 町の人口

区分	人口 (人)			世帯数	小学校		中学校		選挙人名簿登録者
	計	男	女		学校数	児童数	学校数	生徒数	
高 畠	6,277	3,070	3,207	2,330	1	277	1	581	人 男 8,849 女 9,342
二井宿	741	370	371	271	1	17			
屋 代	3,967	1,957	2,010	1,364	1	203			
亀 岡	1,752	889	863	587	1	70			
和 田	2,516	1,257	1,259	867	1	120			
糠野目	5,697	2,794	2,903	2,174	1	297			
施設・寮	216	44	172	216					
合計	21,166	10,381	10,785	7,809	6	984	1	581	18,191

(令和7年4月1日 住民基本台帳人口)

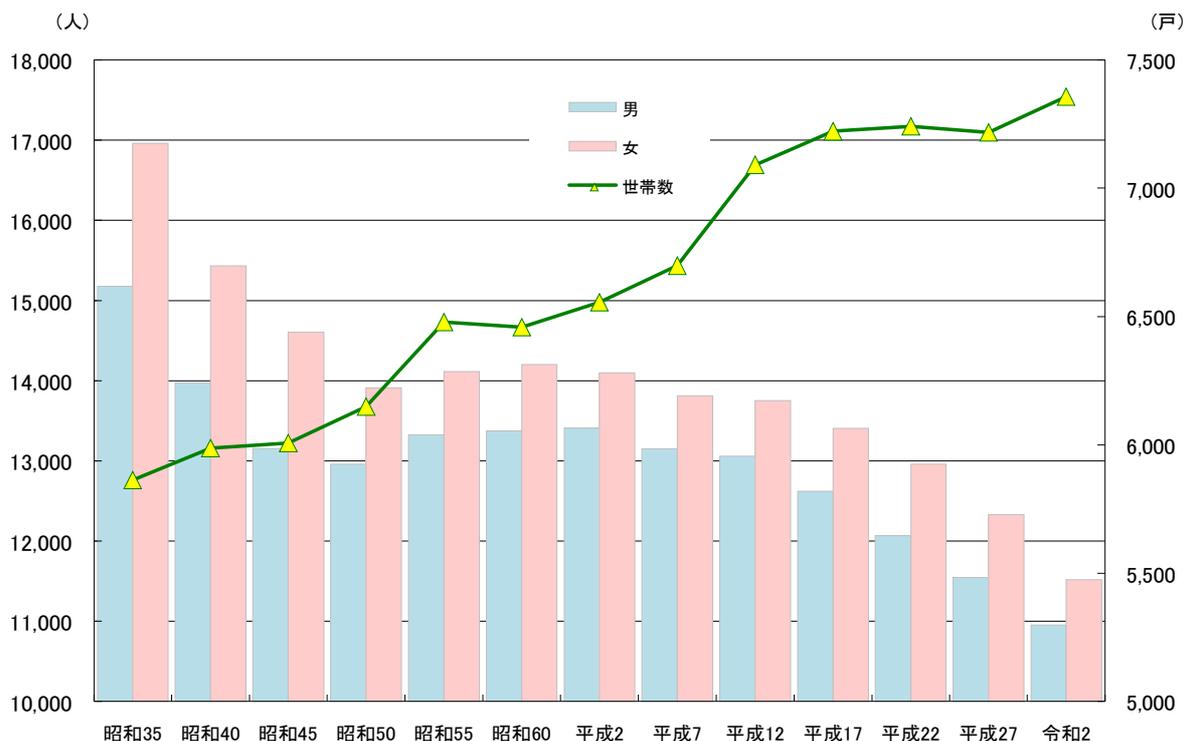
(令和7年5月1日現在)

(令和7年6月1日
定時登録)

◎人口の推移(男女別・世帯数)

区分	世帯数 (戸)	人口 (人)			1世帯当たりの 人員 (人)
		計	男	女	
昭和40年	5,987	29,406	13,976	15,430	4.91
昭和45年	6,007	27,760	13,156	14,604	4.62
昭和50年	6,149	26,868	12,959	13,909	4.37
昭和55年	6,479	27,440	13,326	14,114	4.24
昭和60年	6,459	27,576	13,374	14,202	4.27
平成 2年	6,555	27,510	13,411	14,099	4.20
平成 7年	6,698	26,964	13,151	13,813	4.03
平成12年	7,091	26,807	13,057	13,750	3.78
平成17年	7,222	26,026	12,621	13,405	3.60
平成22年	7,241	25,025	12,068	12,957	3.46
平成27年	7,218	23,882	11,548	12,334	3.31
令和 2年	7,358	22,463	10,950	11,513	3.05

(国勢調査)

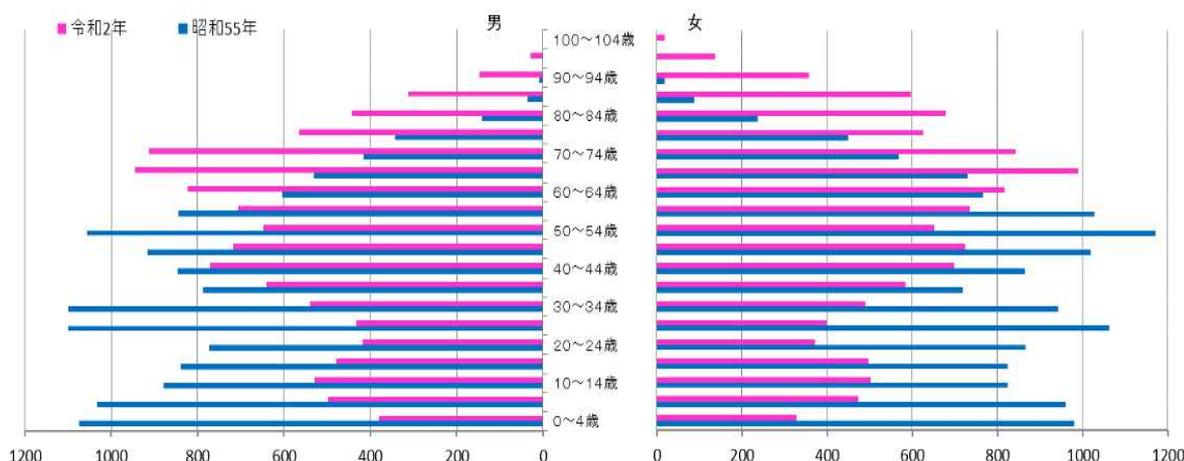


◎人口の推移(世代別)

単位：人 ()内は構成比%

区分	0~14歳	15~64歳	65歳以上	不詳	計
昭和35年	(32.5%) 10,444	(61.1%) 19,639	(6.4%) 2,053		32,136
昭和45年	6,136	18,814	2,810		27,760
昭和55年	(21.0%) 5,751	(66.0%) 18,124	(13.0%) 3,565		27,440
昭和60年	5,855	17,751	3,970		27,576
平成2年	5,455	17,316	4,739		27,510
平成7年	4,692	16,648	5,624		26,964
平成12年	4,176	16,396	6,235		26,807
平成17年	3,735	15,660	6,631		26,026
平成22年	(13.7%) 3,429	(59.4%) 14,868	(26.9%) 6,721	7	25,025
平成27年	(13.0%) 3,101	(56.8%) 13,579	(30.1%) 7,187	(0.1%) 15	23,882
令和2年	(12.1%) 2,709	(54.0%) 12,134	(33.8%) 7,597	(0.1%) 23	22,463

(国勢調査)



(国勢調査)

◎年代別人口集計

単位：人

年齢	計	男	女	割合
0~4歳	539	291	248	2.55%
5~9歳	741	395	346	3.50%
10~14歳	949	475	474	4.48%
15~19歳	971	494	477	4.59%
20~24歳	816	424	392	3.86%
25~29歳	759	382	377	3.59%
30~34歳	842	455	387	3.98%
35~39歳	1,087	573	514	5.14%
40~44歳	1,241	648	593	5.86%
45~49歳	1,435	752	683	6.78%
50~54歳	1,442	740	702	6.81%
55~59歳	1,310	652	658	6.19%
60~64歳	1,419	708	711	6.70%
65~69歳	1,622	787	835	7.66%
70~74歳	1,872	920	952	8.84%
75~79歳	1,512	759	753	7.14%
80~84歳	1,021	450	571	4.82%
85~89歳	869	294	575	4.11%
90~94歳	506	144	362	2.39%
95~99歳	181	36	145	0.86%
100~104歳	31	2	29	0.15%
105~114歳	1	0	1	0.00%
合計	21,166	10,381	10,785	100%
平均年齢	51.2歳	49.3歳	53.0歳	

(令和7年4月1日 住民基本台帳人口)

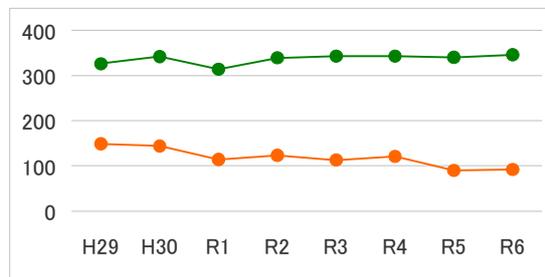
◎出生数の推移

単位：人

区分	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出生数	149	144	114	123
死亡数	326	342	314	339

区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出生数	113	121	90	92
死亡数	343	343	340	346

(町民課窓口統計)



生産年齢人口(15歳~64歳)	
11,322人	53.49%
前期高齢者人口(65歳~74歳)	
3,494人	16.51%
後期高齢者人口(75歳以上)	
4,121人	19.47%

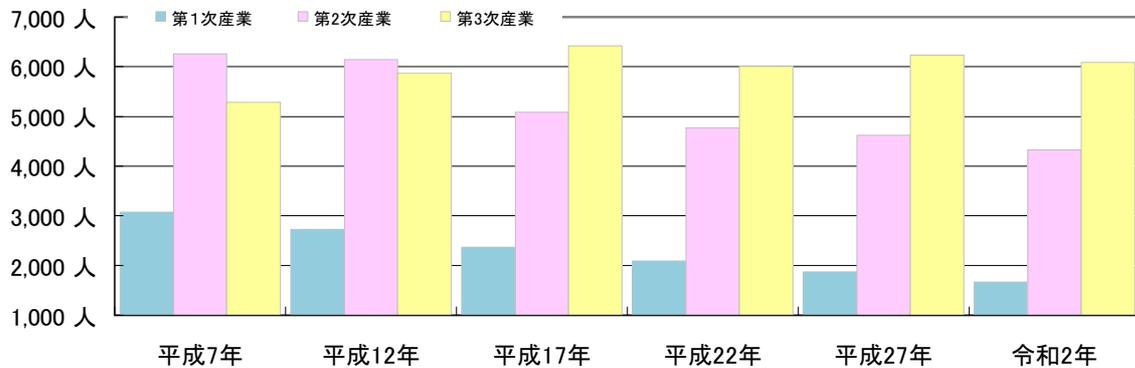
(令和7年4月1日 住民基本台帳人口)

■ 町の産業

◎ 産業別就業者数の推移

区分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
第1次産業	3,076 人	2,726 人	2,371 人	2,087 人	1,871 人	1,663 人
第2次産業	6,259 人	6,142 人	5,088 人	4,772 人	4,622 人	4,328 人
第3次産業	5,283 人	5,871 人	6,420 人	6,004 人	6,232 人	6,083 人

(国勢調査)



第1次産業 … 農業、林業

第2次産業 … 製造業、建設業、鉱業

第3次産業 … 卸・小売業、サービス業、電気・ガス・熱供給・水道業、金融・保険業、運輸業、飲食店・宿泊業、医療・福祉、複合サービス事業、学習支援業、情報通信業、不動産業

◎ 町内総生産の推移

単位：百万円

経済活動別	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
(1) 農林水産業	4,019	3,818	4,067	4,212	3,526
① 農業	3,969	3,768	4,018	4,161	3,473
② 林業	50	50	49	50	53
③ 水産業	0	0	0	1	0
(2) 鉱業	135	135	134	36	35
(3) 製造業	22,489	22,072	20,424	17,172	21,638
(4) 建設業	3,930	6,270	3,789	4,720	4,175
(5) 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	1,556	1,625	1,671	1,594	1,702
(6) 卸売・小売業	4,980	4,912	4,871	4,942	5,146
(7) 運輸・郵便業	2,210	2,171	2,216	2,079	2,218
(8) 宿泊・飲食サービス業	1,160	1,141	1,046	479	465
(9) 情報通信業	1,270	1,282	1,233	1,232	1,174
(10) 金融・保険業	941	956	956	968	994
(11) 不動産業	9,463	9,277	9,045	8,621	8,354
(12) 専門・科学技術、学習支援サービス業	2,820	2,857	2,884	3,815	4,016
(13) 公務	4,884	4,697	4,890	4,643	4,636
(14) 教育	2,823	2,784	2,768	3,266	3,302
(15) 保健衛生・社会事業	7,419	7,506	7,623	7,892	8,087
(16) その他のサービス	2,234	2,177	2,270	1,856	1,916
小計	72,336	73,681	69,888	67,528	71,383
輸入品に課される税・関税	1,193	1,302	1,218	1,200	1,480
(控除) 総資本形成に係る消費税	939	977	1,054	1,016	847
市町村内総生産	72,590	74,006	70,052	67,713	72,016

※市町村民経済計算は新しい年度の推計結果が公表されると、併せて過去の各年度の数値も遡って改正されることがあります。

これは基礎となる県民経済計算が遡及改正されることや、推計方法の見直しを行っていることなどが要因となっています。

※数値は単位未満を四捨五入して表示しているため、総数と内訳の合計等が一致しない場合があります。

<農業>

◎農家数・農家人口・農業従事者数

区分		平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
農家数 (戸)	総農家数	2,316	2,081	1,933	1,705	1,493	1,210
	自給的農家数	-	301	380	374	365	307
	販売農家数	-	1,780	1,553	1,331	1,128	903
	専業農家	193	182	210	270	311	-
	第1種兼業農家	819	627	566	389	275	-
	第2種兼業農家	1,304	971	777	672	542	-
農業従事者数 (人)		6,169	5,301	4,328	3,700	2,938	1,519
農家人口 (人)		11,472	10,048	7,280	-	-	-

※ 総農家数は、平成12年から自給的農家数と販売農家数に分けられた。

(農林業センサス)

※ 農業従事者数は、平成12年から27年までは販売農家数の数値。令和2年からは基幹的農業従事者のみの数値

◎経営耕地面積

単位：a

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総面積	396,740	374,779	362,224	349,404	339,060	328,803	306,059
内訳	田	297,994	283,609	278,483	272,718	268,350	264,710
	畑	40,448	37,051	34,262	33,216	30,620	29,234
	樹園地	58,298	54,119	49,479	43,470	40,090	34,859

(農林業センサス)

◎主要農産物収穫量

単位：t

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
米	12,300	13,400	13,100	12,200	11,900	11,700	11,700
そば	42	40	44	65	59	44	42
大豆	158	190	178	220	198	208	211

(農林水産省 作物統計調査)

◎家畜飼養頭数

単位：頭

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
乳牛	1,042	998	948	965	916
肉牛	441	365	409	581	692
豚	417	377	238	380	218

【町の特産品】

<水道・下水道>

◎水道普及状況

(人、%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
行政区域内人口(A)	22,698	22,345	21,949	21,535
給水区域内人口(B)	22,574	22,231	21,833	21,421
現在給水人口(C)	22,526	22,192	21,791	21,387
普及率(C)/(A)	99.2	99.3	99.3	99.3

(水道事業会計決算書)

◎下水道の現況

(人、%)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
行政区域内人口(A)	22,698	22,345	21,949	21,535
処理区域内人口(B)	17,009	16,837	16,640	16,382
水洗化人口(C)	15,529	15,433	15,408	15,209
普及率(B)/(A)	74.9	75.35	75.8	76.1
水洗化率(C)/(B)	91.3	91.7	92.6	92.8

(山形県下水道課)



ぶどう



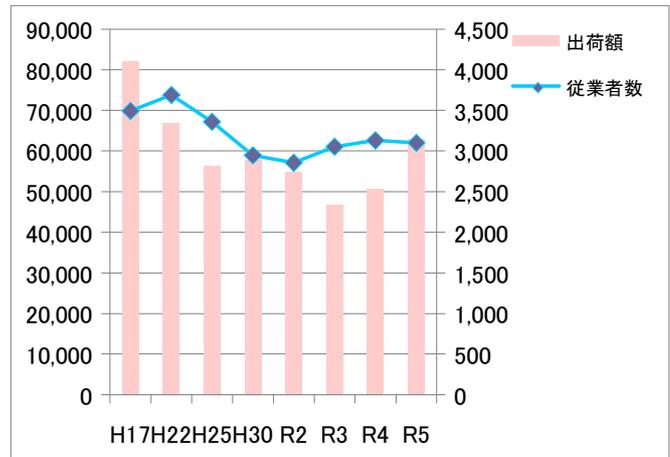
ラ・フランス

<工業>

◎工業事業所数・従業者数等(従業者4人以上の事業所)

単位：事業所、人、百万円

区分	事業所数	従業者数	出荷額
平成17年	91	3,495	82,085
平成22年	80	3,689	66,850
平成25年	82	3,358	56,436
平成30年	74	2,945	55,737
令和2年	69	2,853	54,731
令和3年	70	3,052	46,656
令和4年	80	3,131	50,579
令和5年	81	3,099	62,960



(経済構造実態調査)

◎男女別工業従業員数(令和5年6月1日基準日)

単位：人

合計(A-B)		
男女計	男	女
3,099	1,890	1,209

(工業統計調査 令和5年山形県の工業)

◎経済構造実態調査 産業中分類別事業所数等(4人以上の事業所)

単位：事業所、人、万円

区分	令和4年			令和5年		
	事業所数	従業員数	製造品出荷額等	事業所数	従業員数	製造品出荷額等
総数	80	3,131	5,057,923	81	3,099	6,296,054
食料	19	793	1,109,462	20	812	1,244,477
飲料等	3	63	111,042	3	62	111,519
繊維	3	29	-	3	29	11,466
木材	2	11	×	2	11	×
家具	1	161	×	1	147	×
印刷	3	26	24,229	3	25	26,746
石油	1	4	×	1	4	×
プラ	1	43	×	1	46	×
土石	2	59	×	2	50	×
金属	11	190	168,232	10	174	211,796
はん用	1	25	×	1	25	×
生産用	12	537	1,703,228	13	544	2,294,828
電子	3	755	938,031	3	716	1,116,535
電機	11	293	338,138	11	307	422,552
情報	2	110	×	2	115	×
輸送	4	24	15,643	4	24	25,751
その他	1	8	×	1	8	×

<商業>

◎商店数・従業者数・年間販売額

単位：人、百万円

区分	卸売業			小売業		
	商店数	従業者数	年間販売額	商店数	従業者数	年間販売額
平成6年	38	263	67,326	321	1,260	2,077
平成9年	37	234	63,938	299	1,257	20,312
平成14年	41	278	13,449	304	1,394	19,495
平成16年	46	282	14,486	282	1,370	18,477
平成19年	50	305	14,333	261	1,233	15,517
平成24年	36	200	8,898	212	1,043	14,822
平成26年	33	173	7,476	204	905	14,045
平成28年	38	243	12,927	205	896	14,389

(経済センサス—活動調査)

◎産業中分類別統計表（令和3年）

単位：人、百万円、㎡

産業分類	商店数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
合計	223	1,212	22,817	-
卸売業	39	239	7,349	-
小売業	184	973	15,468	19,497
各種商品小売業	-	-	-	-
織物・衣服・身の回り品小売業	8	16	20	153
飲食料品小売業	61	408	4,598	4,592
機械器具小売業	28	126	2,266	3,324
その他の小売業	78	398	8,133	11,428
無店舗小売業	9	25	451	-

<その他>

◎町立図書館の状況

区分	令和4年度	令和5年度
蔵書冊数	93,267 冊	98,511 冊
貸出冊数	85,573 冊	89,827 冊
登録者数	5,482 人	5,640 人

(山形県統計年鑑)

◎テレビ受信契約数

区分	令和5年3月31日	令和6年3月31日
放送受信契約数	7,238 件	7,197 件
衛星契約数(再掲)	3,155 件	3,144 件
ケーブルテレビ契約数	3,449 件	3,500 件

(山形県統計年鑑)

◎自動車保有台数

(台)

区分	令和5年3月31日	令和6年3月31日
総数	20,508	20,384
貨物用	4,811	4,742
乗合用	37	37
乗用	14,845	14,784
特種(殊)用途用	441	444
二輪車	374	379
自動車1台当たり人口	1.07 人	0.96 人
一世帯当たり自動車数	2.63 台	2.61 台

(山形県統計年鑑)

◎教育・保育施設等入所状況

区分	令和4年4月1日現在		令和5年4月1日現在		令和6年4月1日現在		令和7年4月1日現在	
就学前児童数	799 人	(割合)	763 人	(割合)	707 人	(割合)	653 人	(割合)
入所児童数	668 人	83.6%	626 人	82.0%	608 人	86.0%	579 人	88.7%
未入所児童数	131 人	16.4%	137 人	18.0%	99 人	14.0%	74 人	11.3%

(福祉こども課：児童マップ)

■ 町のあゆみ(その1)

昭和	
29年10月	社郷町発足(高島町、二井宿村、屋代村、亀岡村、和田村の1町4ヶ村が合併。人口29,467人、4,820戸)
30年 4月	糠野目村が合併。町名変更「高島町」と改称(人口36,151人、5,793戸) 公立高島病院を設置
31年 8月	国道13号線糠野目橋完成
35年 3月	上水道第1期工事完成
8月	高島町商工会誕生
39年 1月	町章制定
40年 1月	高島、二井宿、亀岡、和田、糠野目農協合併、高島町農協として発足
42年 4月	町常備消防署発足
8月	羽越災害(災害額6億4千万円)
12月	消防署新庁舎完成
43年 6月	役場庁舎完成
46年 3月	高島町史別巻「考古資料編」の発刊
47年 3月	濱田廣介氏を名誉町民に推たい
7月	中央公民館新築落成
48年 3月	高島町史「上巻」発刊
9月	公共下水道工事に着手(県下5番目)
49年 4月	時沢分校独立小学校として発足
6月	町営体育館新築落成
11月	山交電鉄高島線全面廃止
51年 5月	高島町史「中巻」発刊
52年 2月	日向洞窟が国指定となる
53年 3月	高島町農協、屋代農協合併し、高島町農協として発足(組合員4,632人) 水田利用再編対策に着手
7月	中学校の学区を4学区とする
11月	県営広域水道事業に調印
12月	老人福祉センター完成
54年 4月	「屋代中学校」を「第二中学校」に「糠野目中学校」を「第四中学校」に校名変更
6月	まほろば緑道一部供用開始 新野廣吉氏を名誉町民に推たい
11月	高島町郷土資料館開館 町民憲章制定
12月	大規模農道全面開通 総延長24km、事業費28億6,500万円 置賜広域水道用水供給事業起工式
55年 3月	町営・県営「大町団地」完成
4月	自然休養村センターオープン
6月	大立洞窟が国指定となる
9月	一ノ沢洞窟が国指定となる
56年10月	町商工会館完成
57年 4月	特別養護老人ホーム「まほろば荘」オープン
5月	新高島町総合計画策定
8月	中央公園野球場オープン
58年 2月	国鉄「糠ノ目駅」が無人化 町観光協会に運営委託
4月	火箱岩洞窟が国指定となる
5月	第四中学校改築落成
59年 4月	地籍調査始まる
11月	合併30周年記念合同式典
60年 7月	第二中学校改築落成
8月	押出遺跡発掘
61年 6月	まほろばの緑道全線開通
7月	新高島音頭発表
10月	高島町史「下巻」発刊
11月	町武道館落成
62年 2月	住民生活課窓口電算化スタート
10月	最上川流域下水道供用開始
元年 4月	高島町勤労者体育館落成

平成	
元年 5月	浜田広介記念館開館
8月	コミュニティープール落成
2年 9月	温泉が一本柳に湧出
3年 3月	JR糠ノ目駅を「高島駅」に改称 高島町デイ・サービスセンター完成
4年 5月	むくどりの夢館「温もりの湯」開館
6月	第3次高島町総合計画策定
7月	山形新幹線開業
9月	高島町太陽館オープン(高島駅停車)
10月	第47回国民体育大会軟式野球成年2部開催
5年 4月	県立考古資料館開館
11月	高島町文化ホール「まほら」完成
7年 4月	二井宿小学校新築校舎完成
11月	町制施行100周年 町村合併 40周年 記念式典 島津助蔵氏を名誉町民に推たい
8年 4月	町営バス運行開始 押出遺跡の彩漆土器と出土品が国指定の重要文化財となる
5月	二井宿・蛭沢地区に水道給水開始
6月	公立高島病院新築移転
9年 4月	健康管理施設「げんき館」オープン
9月	一般国道113号二井宿道路開通 第10回全国健康福祉祭山形大会(ねんりんピック97山形)
11月	一般有料道路米沢南陽道路開通
10年 4月	まほろば古の里「歴史公園」オープン
6月	第4次高島町総合計画策定
11年 4月	特別養護老人ホーム「はとみね荘」オープン 糠野目生涯学習館オープン 勤労者体育館、コミュニティープールを併せ糠野目生涯学習センターとする 千代田クリーンセンター本稼働となる ごみの有料化がはじまる
12年 4月	高島ふる里自然の道・ウォーキングセンター・高島町総合観光案内施設オープン 地区公民館に地域採用職員を配置
5月	高島町多目的広場オープン 浜田広介生家移築復元
8月	道の駅「たかはた」建設省登録
13年12月	高島町環境基本条例制定
14年 2月	環境ISO14001認証取得
4月	浜田広介記念館ひろすけホールオープン ゆうきの里に高島町交流施設オープン
15年 4月	高島町農産物加工体験交流施設オープン
9月	役場、公民館、学校等公共施設内での禁煙実施
10月	第18回国民文化祭・やまがた2003「人形劇フェスティバル」「児童文学大会」開催
16年 9月	5ヶ年経営計画策定
17年 4月	県立高島高校新築移転
17年11月	町制施行110周年 町村合併 50周年 記念式典 町営バス廃止
17年12月	デマンド交通運行開始
18年 4月	なかよし保育園開設
7月	特別養護老人ホーム「たかはた荘」オープン
19年 4月	総合交流プラザオープン
20年 2月	「たかはたブランド」デビュー
9月	たかはた食と農のまちづくり条例制定
21年 3月	第5次高島町総合計画策定
4月	たかはたこども園開設 町内全中学校で学校給食開始 公立高島病院 地方公営企業法全部適用団体へ

■ 町のあゆみ(その2)

平成	
21年 5月	余熱利用施設「湯るっと」オープン
11月	屋代児童館移転
22年 3月	時沢小学校閉校 和田小学校上和田分校閉校
8月	二井宿小学校・亀岡小学校 太陽光発電設備完成
9月	町全域に光ファイバー通信サービス開始
12月	千代田クリーンセンターアクセス道路開通
23年 1月	多目的屋内運動場オープン
4月	げんき館に健診センターを併設
10月	高島町上和田交流館オープン 戸籍電算化スタート
24年 4月	置賜広域行政事務組合消防本部発足
7月	山形新幹線開業20周年記念式典
25年 1月	屋代地区公民館・屋代地区防災センター開館
4月	町税等のコンビニ納付開始
7月	中学生までの医療費無料化
26年 4月	町公式マスコットキャラクター「たかつき」「はたつき」デビュー
27年 2月	高島中学校 校舎・体育館完成
10月	熱中小学校 開校
27年 11月	町制施行120周年 町村合併 60周年 記念式典
28年 3月	高島消防署 新庁舎に移転 旧高島駅舎・関連施設「国登録文化財」へ
4月	高島中学校 開校
29年 4月	防災行政無線運用開始 町立屋代小学校改築移転
30年 4月	二井宿保育園・和田保育園 民営化
31年 3月	第6次高島町総合計画策定
31年 4月	高島町産業振興センター開設
令和	
元年 7月	屋内遊戯場「もっくる」開館 町立図書館 移転し開館
2年 4月	屋代児童館 民営化(やしろ保育園へ)
2年 11月	高島町ゼロカーボンシティ宣言
3年 4月	町営第二体育館オープン
4年 3月	温もりの湯閉館
4年 4月	コワーキングスペースオープン
4年 9月	高島町犬猫やすらぎの郷公園オープン
5年 3月	病児保育施設「まほろん」開所
5年 5月	フォーチュンタウン駅西分譲販売開始
6年 1月～	デュアルスクール受入事業(和田小)
6年 7月～	デュアルスクール受入事業(二井宿小)
7年 2月	台湾プロモーション事業
7年 3月	庁舎完成

令和7年度の主な取組み 全国に先駆けて、二地域居住推進宣言！

高畠町は、これまでの熱中小学校プロジェクトやデュアルスクール事業を通じて、首都圏からの人材受け入れを積極的に行ってまいりました。

特に、若い子育て世代の受け入れを軸にした二地域居住関連事業は、地域の未来を担う人材を育成し、地域社会の活性化を図る上で非常に重要であると考えております。デュアルスクールや地域みらい留学の実施により、県外からの学生を受け入れ、地域の魅力を直接体験してもらい、地域住民との交流から高畠での暮らしを学び、理解してもらう貴重な機会となっております。

また、本町には、0歳から22歳まで、未就学児から大学生までを受け入れられる体制があり、この暮らしと学びが一体となった環境こそが、本町の強みであります。これは、約50年前の本町の有機農業運動をきっかけに移住した方が多数おられるように、その当時から本町の文化として地域に根付いているものだと捉えております。

全国的な人口減少・少子高齢化により地域の持続性が脅かされている中、本町では「日本一人を育てるまちづくり」をスローガンに掲げ、これからの時代に求められる新しい暮らし方として、都市と地方の「二地域居住」を推進し、持続可能なまちづくり、地域社会の発展のため、関係機関と連携しながら事業を展開してまいります。

《これまで実施してきた首都圏からの人材受け入れ事業》



👉 熱中小学校授業の様子



👉 大学生との学習支援



👉 高畠高校魅力化事業



👉 デュアルスクールの様子（左：和田小 右：二井宿小）



都市と地方の
「二地域居住」
を推進します！

■ 町内の主な施設

施設名	電話番号	
高島町役場	52-1111 (代)	
高島町健康管理施設「げんき館」	52-1116	
高島町健診センター	52-1116	
こども家庭センター		
健康子育て課 母子保健係	52-1307	
健康子育て課 子育て支援係	52-2864	
地域包括支援センター	52-4495	
高島町在宅医療介護連携センター	52-5030	
公立高島病院	52-1500 (代)	
社会教育・ 体育施設	総合交流プラザ	52-5702
	高島地区公民館	52-4492
	二井宿地区公民館	52-1001
	屋代地区公民館	52-0069
	亀岡地区公民館	52-0501
	和田地区公民館	56-3006
	生涯学習館・高島町体育センター	57-3505
	上和田交流館	56-3005
	高島町立図書館	52-4493
	高島町営体育館・武道館	52-4490
	高島町営第二体育館	52-4490
	高島町野球場・陸上競技場	52-4261
	高島町文化ホール「まほら」	52-4489
	文化施設	浜田広介記念館
高島町郷土資料館		52-4523
埋蔵文化財整理収蔵施設		49-8777
創造の館		52-1457
県立うきたむ風土記の丘考古資料館		52-2585
学校施設	高島小学校	52-1050
	二井宿小学校	52-1004
	屋代小学校	52-0072
	亀岡小学校	52-0539
	和田小学校	56-3003
	糠野目小学校	57-3206
	高島中学校	40-0355
	県立高島高等学校	58-5401
放課後児童 クラブ	ちびっこ	52-0773
	あおたけ	52-1979
	クレヨンクラブ	52-4085
	あおぞら	51-1118
	げんきクラブ	56-3030
	みんなのクラブ	57-3390
	遊学舎子どもの村	57-4811
	子育て支援センター	49-7586
児童福祉 施設	たかはたこども園	52-0035
	にじいろこども園	52-2322
	やしろ保育園	52-0093
	なかよしこども園	52-0589
	なごみこども園	56-2110
	つくし保育園	57-3213
	まつかわ幼稚園	57-3216
	あいいく幼児園	56-2544
病児保育施設「まほろん」	52-1685	
屋内遊戯場「もつくる」	49-7588	
高島町産業振興センター	40-1070	
コワーキングスペース	090-6853-5543	
高島町社会福祉協議会・老人福祉センター	52-4486	
高島町商工会	52-0576	
高島町太陽館	57-4177	
道の駅たかはた	52-5433	
ゆうきの里 さんさん	58-3060	
高島町観光協会	57-3844	
JR高島駅	57-3104	
高島町斎場	52-4053	
置賜広域行政事務組合 高島消防署	52-1505	
置賜広域行政事務組合 千代田クリーンセンター	57-4004	
置賜スポーツ交流プラザ「湯るっと」	57-3948	
熱中小学校 (NPO法人 はじまりの学校)	33-9392	

高島町公式マスコットキャラクター

